

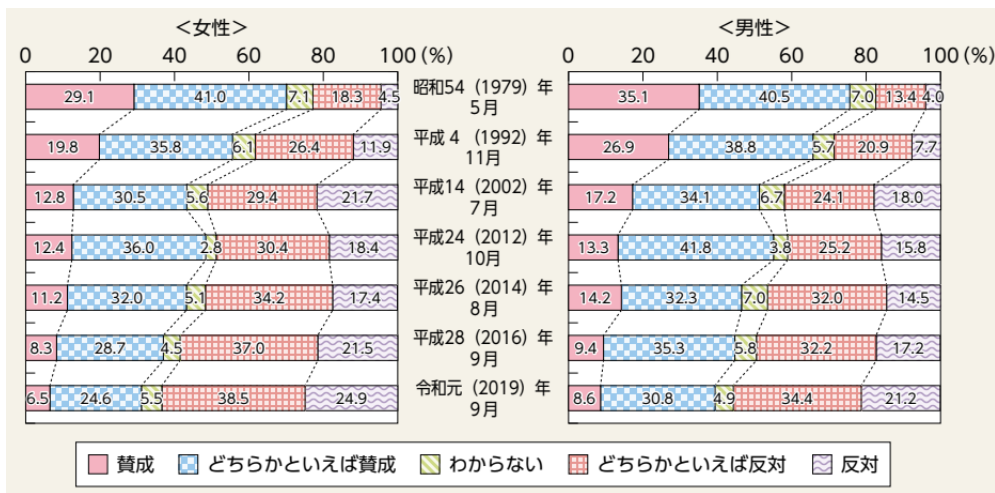
令和5年度 宮崎公立大学 学校推薦型選抜 I 小論文課題

日本において女性が活躍する社会を実現するためには、固定的な性別役割分担意識を解消することや、男性中心型労働慣行を改めることが必要であると指摘されています。性別役割分担意識とは、「男は仕事、女は家庭」などのように、性別を理由として役割を分ける考え方のことです。また、男性中心型労働慣行とは、長時間勤務や転勤が当然視される男性中心の働き方を前提とする労働慣行のことです。

資料を参考にして、以下の3つの問いについて、あわせて600字程度で論述してください。なお、3つの問いそれぞれの字数配分は自由です。

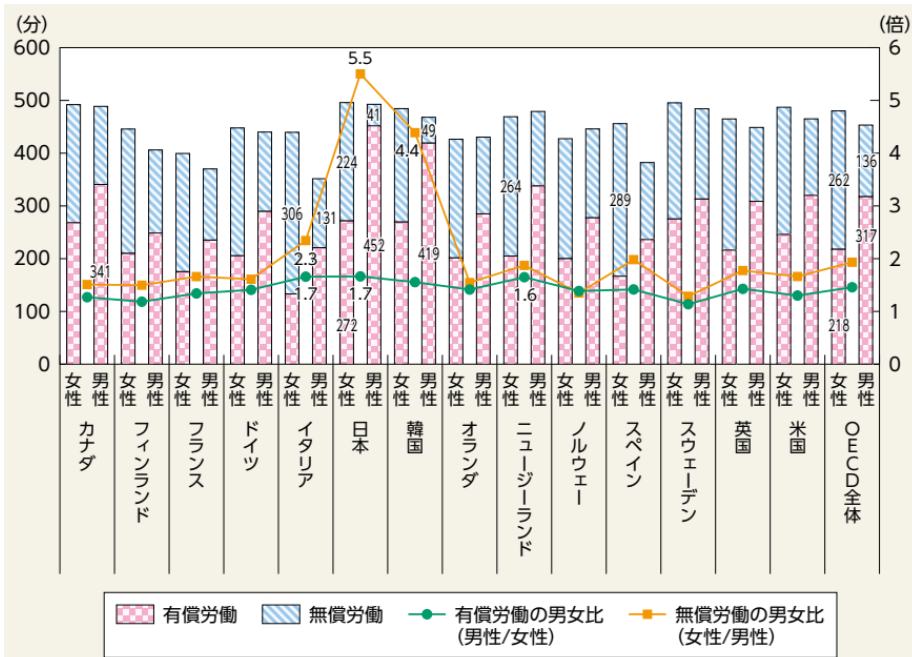
- 問 1 日本人の性別役割分担意識はどのように変化してきたか、資料 1 から読み取れることを挙げなさい。
- 問 2 諸外国と比較した場合、日本人の有償労働（収入を伴う労働）、無償労働（家事・育児・介護などの収入に結びつかない労働）にはそれぞれどのような特徴があるか、資料 2 から読み取れることを挙げなさい。
- 問 3 固定的な性別役割分担意識の解消や男性中心型労働慣行の変革のためにはどのような取り組みが必要か、問 1 と問 2 で読み取ったことを踏まえて、あなたの考えを具体的に述べなさい。

資料 1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に関する意識の変化（男女別）



出典：内閣府『令和2年版男女共同参画白書』

資料 2 男女別に見た生活時間（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



出典：内閣府『令和2年版男女共同参画白書』